

情報公開文書

1. 研究の名称

肝・胆・膵悪性腫瘍における新規血清バイオマーカーの探索

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究機関：京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科

研究責任者：京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 助教 楊 知明

4. 研究の目的・意義

肝、胆道、膵に発生する悪性腫瘍は早期発見が困難で、また切除後の再発率も高く、未だその治療成績は十分ではありません。本研究では、癌やその再発の診断、またリスク評価や予後予測を行うことができる新規血清バイオマーカーを探索し、肝胆膵癌の治療成績の向上を目指します。

5. 研究実施期間

研究実施機関の長の許可日から5年間とします。

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2000年1月1日から2024年7月31日の期間に京都大学医学部附属病院で肝臓、胆道、膵臓を原発とする悪性腫瘍の診断で手術を受けた患者さん（診療科：肝胆膵・移植外科）の診療情報、血液検体/切除組織検体（肝胆膵・移植外科またはクリニカルバイオリソースセンターで保管）を利用します。

7. 情報の利用目的・利用方法

肝・胆・膵悪性腫瘍切除例の診断後からその後の治療経過中に採取した血液検体を用いて特定の物質の血中濃度を測定し、診療録より取得した生存成績に関する事項との関連を統計学的に解析します。また、手術で切除した組織を用いて、予後と関連する機序について検討を行います。

8. 情報の管理について責任を有する者

京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 楊 知明

9. 研究対象者の個人情報保護及び研究に係る試料・情報の保管

研究対象者等またはその関係者の申し出により、研究対象者が識別できる試料や情報の利用を停止することができます。本研究で収集する情報は個人が特定できないようにした上で解析などを進めます。また本研究の成果を学会や学術誌で発表することがありますが、これも個人を特定できないようにした上で行います。収集したデータは個人情報の漏えいや紛失が起らないように適切に保管し、研究終了後から10年間保管します。その後は個人情報に配慮し、適切に廃棄しま

す。

10. 本研究に関する資料の入手、閲覧及びその方法

希望により個人情報保護及び本研究に支障のない範囲で本研究の研究実施計画書、研究の方法に関する資料の入手、閲覧が可能です。その際は下記研究対象者からの相談窓口へご連絡ください。

11. 利益相反

本研究は独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業の研究助成金により行い、特定の企業等からの資金提供はありません。利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

12. 本研究に関する相談、お問い合わせ先

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 楊 知明

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

E-mail : tomyoh@kuhp.kyoto-u.ac.jp

電話 : 075-751-3608

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

電話 : 075-751-4748

2024/8/1 Ver. 2